# 大分県立看護科学大学創立 20 周年記念

# 第20回看護国際フォーラム

主催:大分県立看護科学大学 / 共催:大分県看護協会

「看護におけるリーダーシップ」

日時: 2018年9月15日(土)、13時30分~16時30分

会場:別府ビーコンプラザ 国際会議室 募集人員:350名

# プログラム

13:30 – 13:35	開会挨拶 村嶋幸代(大分県立看護科学大学 理事長・学長)
13:35 – 14:05	「社会に新風を吹きこむ看護のリーダーシップ:大分県立看護科学大学の活動から」
	キーワード:看護におけるリーダーシップ、日本初の試み、変革
	講師:村嶋幸代, PhD, PHN, RN 大分県立看護科学大学 理事長・学長
14:05 – 14:35	「脳卒中後の感情障害:根拠に基づく看護研究」
	キーワード:脳卒中、感情障害、看護、クオリティ・オブ・ライフ、
	介護者の負担
	講師:スミ・チョイ-クォン, PhD
	韓国 ソウル国立大学校看護大学 成人看護学専攻 教授・学部長
14:35 – 15:15	「看護におけるリーダーシップの進路:効果的なメンタリング関係を通した臨床学の
	発展」
	キーワード:看護のリーダーシップ、メンタリング、臨床学者
	講師:ジェイムセッタ・A・ニューランド, PhD, FNP-BC, FAANP, DPNAP
	米国 ニューヨーク大学校 看護大学 臨床教授
	同大学 ヘルスケアクリニック ナースプラクティショナー
15:15 – 15:25	休憩
15:25 – 16:25	総合討論
	座長:藤内美保, PhD, RN 大分県立看護科学大学
	大分県立看護科学大学 看護アセスメント学研究室 教授、学部長
	座長:竹中愛子 大分県看護協会 会長
16:25 – 16:30	閉会挨拶 稲垣敦, PhD (大分県立看護科学大学 健康運動学研究室 教授、研究科長)

\_\_\_\_\_

参加費:一般 2,000 円、学生 500 円 (資料代等)

同時通訳用レシーバーを御使用の場合、別途1,000円必要です。

当日、受付にてお支払いください。できるだけおつりのないようにお願いいたします。

<u>応募方法</u>: 参加登録フォームは大分県立看護科学大学 HP(http://www.oita-nhs.ac.jp)にてご案内します。必要事項をご入力の上、お申し込みください(6月1日(金)より受付開始)。

応募締め切り:8月17日(金)(定員に達し次第締め切ります。お早めにご応募ください。)

#### 問い合わせ先:

Email: forum2018@oita-nhs.ac.jp 大分県立看護科学大学 看護国際フォーラム事務局 〒870-1201 大分県大分市大字廻栖野 2944-9

### 講師紹介

#### 村嶋幸代, PhD, PHN, RN

大分県立看護科学大学 理事長・学長、東京大学名誉教授



- ・1975年 東京大学医学部保健学科卒
- · 1977 年 東京大学大学院医学系研究科修士課程修了
- · 1980 年 保健学博士号取得(東京大学) 聖路加看護大学(現、聖路加国際大学)等
- ・2001年~ 東京大学大学院医学系研究科 教授 この間、健康科学・看護学専攻長(8年) 東京大学男女共同参画室長(2007年5月~2009年6月)
- ・2012 年~ 現職
- ・主な研究テーマは、地域看護、地域ケアの評価、看護政策

# スミ・チョイ-クォン, PhD

韓国 ソウル国立大学校看護大学 成人看護学専攻 教授・学部長



- ・ソウル国立大学校看護大学卒
- ・米国バージニア大学にて看護学修士号取得
- ・米国バージニア大学にて博士号を取得(生理学専攻)
- ・米国ニュージャージー州医学・歯学大学で薬理学の博士研究員であった。

ジェイムセッタ・A・ニューランド, PhD, FNP-BC, FAANP, DPNAP 米国 ニューヨーク大学校 看護大学 臨床教授 同大学 ヘルスケアクリニック ナースプラクティショナー



- ・米国ミネソタ州グスタフ・アドルファス大学を卒業、CCU の看護師 (RN) として長年勤務。その後米国ニューヨーク市ペース大学の家族プライマリーケアで修士号を取得、NP に認定された。さらに、ペンシルバニア大学で青年期の鎌状赤血球症の研究を行い、看護学博士号を取得。
- ・米国の看護大学と共に看護師が運営管理するヘルスセンターの創立に関わり、2003年からボツワナ、日本、リトアニアにおいて、高度実践看護師教育の国際的なコンサルテーションに携わってきた。現在フルブライトスペシャリストの称号も獲得している。
- ・NP や他の高度実践者のニーズに応えて 43 年前に創刊された The Nurse Practitioner の主任編集長を 2005 年から務めている。これまでに多くの論文や著書、共同編集の教科書などを執筆。また、幅広い視野を持ちつつ自身の患者らが住むニューヨーク市において、プライマリーケアを実践し続けている。
- ・現在、修士および博士課程の学生の教育に従事している。